



第72回広島市身体障害者福祉大会開会式

7月13日(日)、広島市総合福祉センター15階ホールにおいて、市身連加盟団体の代表者など一二〇名を超える参加者が一堂に会し、「第72回広島市身体障害者福祉大会」を盛大に開催しました。

第72回広島市身体障害者福祉大会

市身連
ひろしま

第130号

発行者
公益社団法人
広島市身体障害者
福祉団体連合会

第一部の式典の部では、市身連の蔵本副会長の開会の言葉、向井会長の挨拶のあと、次の3名の方に更生援護功労者市身連会長表彰が贈られました。

・行友 延喜 (安佐南区身障協)
・廿枝 敦子 (肢体協)
・新矢チエミ (中途失聴・難聴協)

※敬称略

続いて、来賓として広島市長松井一實様(代理・升島博健康福祉局障害福祉部長)及び広島市議会議長の八條範彦様から温かい励ましのお言葉をいただきました。また、衆議院議員の岸田文雄様・斉藤鉄夫様の秘書官、平岡洋様の奥様に代理出席をいただきました。祝電を頂戴しました。

第二部の議事の部では、議案として提出した大会宣言と要望事項である決議案を満場一致で採択しました。

大会スローガン、大会宣言及び決



市身連会長表彰を受ける受章者

議は後掲のとおりです。

第三部は、安芸ひろしま武将隊の平岡優一氏による「広島市の歴史と広島城」と題した講演会が行われました。平岡氏は毛利元就に扮した甲冑姿で熱く広島市の歴史を語られ、参加者は「広島に住んでいながら知らない話も多い。」と聞き入っていました。

その後、武将隊による歌と踊りのパフォーマンスも繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

スローガン

1 みんなが共に支えあいに生
きる「共生社会」を実現しよう

2 市身連及び加盟団体組織体制の強化を図ろう

大会宣言

広島市の身体障害者の代表が一堂に会し、「第72回広島市身体障害者福祉大会」を盛大に開催できますことは、誠に喜びにたえません。

これも平素から、市民の皆さんをはじめ関係者各位の温かいご支援とご理解のたまものと心から感謝申し上げます。

市身連は、身体障害者の自立を促進し、社会参加と平等の基本理念に基づく福祉の推進を図り、社会の発展に寄与することを目的に活動しています。

昨年4月に、改正障害者差別解消法が施行され、すべての事業者に合理的配慮の提供が義務付けられました。また、国や広島市の障害者関係計画も改定されました。これらにより、障害者の活動や社会参画を制約する要因を取り除き地域で自立して生活できるよう、また障害に関する理解や関心が深まり社会のバリアフリー化が一層進展することを期待しています。

今年は被爆80周年を迎えます。一

昨年のG7広島サミット開催、昨年の被団協のノーベル平和賞受賞など、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた取組の重要性と、それを推進していくことの必要性は、従来にも増して大きくなっています。

私たちは、こうした「ヒロシマの心」を発信することを含め、自らの選択と決定に基づき社会のあらゆる活動に参加する主体として活躍したいと考えています。

当連合会は、どのような環境にあっても、障害の有無によって分け隔てることなく、人権及び平等の機会が保障される共生社会の実現のために、会員との強い連携のもと、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言します。

令和7年度決議(要望事項)

- 1 虐待の防止・差別の解消と理解・交流の促進に関する要望
- (1) 広島市手話言語条例の制定
- (2) 市長の全国手話言語市区長会への入会

- (3) 「手話言語国際デー」(9/23)

におけるブルーライトアップ

- 2 安全・安心な生活環境整備の推

進に関する要望

- (1) 発災時のろう者の安心な避難、避難所での情報保障の確保等環境の整備
- (2) 広島駅周辺地域での歩行困難者の円滑な移動の確保
- 3 相談支援の充実に関する要望
- (1) 市役所・福祉事務所窓口における音声認識システムの導入
- (2) 難聴者へのタブレット端末の貸与



安芸ひろしま武将隊によるパフォーマンス

広島市への「要望の会」開催

8月27日(水)、広島市総合福祉センターにおいて、7月13日の福祉大会で決議した要望事項及び来年度の障害福祉関係の予算措置を広島市に求める「要望の会」を開催しました。

広島市側からは、健康福祉局障害福祉部の升島部長、村戸障害福祉課長、栗原主幹ほか担当職員、市身連からは、向井会長、中神副会長、蔵本副会長をはじめ、役員10名及び事務局が出席しました。

要望事項については、出席した役員から項目ごとに、事例を交えながら趣旨説明を行いました。

令和8年度予算措置については、向井会長が要望内容を説明し、その実現を市当局に求めました。

要望事項は前述の福祉大会決議(要望事項)のとおりで、予算措置要望は次のとおりです。

《令和8年度予算措置要望事項》

- 一 身体障害者の自立と社会参加を推進する市身連の活動費の確保にご高配をいただきたい。

- 二 市身連に委託されている「身体

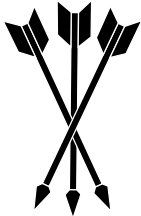
障害者社会参加促進事業費」及び「社会参加推進センター設置運営等事業費」については、現状以上の規模の予算を措置していただきたい。

これら要望事項については、後日文書で広島市から回答をいただくこととなっています。

その後の意見交換では、広島市からの委託を受け当連合会が管理・運行している「福祉バス」について、老朽化が進んでいるので、早く更新してほしいとの要望があり、市からは、引き続き関係業者との調整に取り組むとの回答がありました。



升島部長に要望書を手渡す向井会長



第26回広島市身体障害者 ボウリング大会

5月24日(土)に、ミスズボウルで、市身連主催の「第26回広島市身体障害者ボウリング大会」を選手23名のほか、役員や手話通訳、介助者、事務局などの参加のもと、にぎやかに開催しました。

市身連体育部の上土井部長の開会あいさつ、競技上の諸注意の説明のあと、競技がスタートしました。

一人2ゲームずつ投球し得点を競いました。優勝から3位までの得点差がわずか3点という白熱した勝負が繰り広げられました。



市身連ボウリング大会の様子

閉会式では、障害種別ごとに賞品贈呈を行い、岡井理事の開会のあいさつで大会の幕を閉じました。

この大会の成績を基に、9月7日に京都市で開かれた政令指定都市親善スポーツ大会への出場選手選考が行われました。

第70回日本身体障害者 福祉大会かながわ大会

6月11日(水)、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会(日身連)

令和7年度第1回定時評議員会が横浜市西区みなとみらいのパシフィコ横浜会議センターで開かれ向井会長が出席しました。令和6年度の決算審査、任期満了に伴う役員改選、令和7年度補正予算案の審査を行いました。空席となっていた常務理事(事務局長)に君島淳二氏が就任することとなりました。

その後、初めての試みとして、「意見交換の場」という時間を設け、防災をテーマに事例発表などが行われました。

翌12日(木)に、第70回日本身体障害者福祉大会かながわ大会が、パシフィコ横浜ノースにて開催され、広



第70回日身連全国大会かながわ大会開会式

島市からは7名が参加しました。

令和2年に広島市で開催予定だったこの大会が、コロナ禍により中止。その後3年間オンライン開催。昨年は石川県で開催する予定が能登半島地震のため中止となり、実に6年振りのリアル開催でした。

開会式では、日身連の阿部会長、神奈川県身連連合会の内藤会長、横浜市身連団体連合会の内田理事長、川崎市身連協会の関山理事長のあいさつに続き、黒岩祐治神奈川県知事から歓迎のことがありました。

また、日身連会長表彰が行われ、当会からは大林孝氏(難聴協)が表彰者に選ばれました。

続いて、改正障害者差別解消法の円滑な運用、災害時を含め全ての場面で障害を理由に不利益を被らない社会環境の基盤整備のために活動することを誓う大会宣言などを採択しました。

また、第2部では2年後に横浜市で開催される「グリーンエキスポ2027」に関する講演がありました。大会終了後、横浜ランドマークタワーやクルーズ体験、シウマイの崎陽軒の工場見学、新横浜ラーメン博物館の視察を行いました。



シウマイ崎陽軒横浜工場の見学の風景



第66回政令指定都市 身体障害者福祉団体連絡協議会 並びに親善スポーツ大会

9月6日(土)に京都市で、第66回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会が、また翌7日(日)には、親善スポーツ大会が開催されました。

連絡協議会は、開会式で京都市障害者団体連合会の伊吹文明会長、政令指定都市障害者福祉団体連絡協議会の浅香会長のあいさつ、松井京都市長、下村京都市会議長、日身連の阿部会長から祝辞がありました。続いて、全体会議が開催され、京

都市の中山主席副会長、次期開催地の福岡市の明治会長、大阪市の手嶋会長が議長団に選出されました。

また、昨年度の開催地であった大阪市身体障害者団体協議会の向井原事務局長から前回の決議事項の処理状況について報告がありました。

その後、政令指定都市の各障害者団体から提出された43の議題及び情報交換項目が、障害別の6部会に付託され、各部会において熱心に討議が行われました。

本市からの提案は次のとおりです。

・駐車禁止除外指定車標章の交付対象を上肢障害者3級までに、見直



開会式で挨拶される京都市伊吹会長



舞妓さんと広島市身連参加者



政令市親善スポーツ大会の開会式

すこと「肢体障害者部会」

・物価上昇等に見合った補装具の基準額の設定「視覚障害者部会」

・福祉事務所の障害者対象窓口への

文字認識用アクリル製ディスプレイの設置「難聴障害者部会」

交流会では、障害別・地域別の席

に分かれ、参加者同士が交流・親睦

を深めました。舞台では芸妓さん・

舞妓さんによる祇園おどりが披露さ

れ、優雅な踊りに参加者は魅了され

ていました。

二日目は、親善スポーツ大会(ボ

ウリング大会)が京都市北部のMK

上賀茂ボウルで開催されました。

広島市からは、吉田孝三選手(視

障協)、新納義弘選手・今岡裕子選

手・今岡達也選手(ろう協)、林田

達郎選手(肢体協)の5名・1チームが出場、参加8チーム中6位という成績でした。

来年は福岡市で開催される予定で調整が進められています。

第24回全国障害者スポーツ 大会広島市代表選手団決定

第24回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」が『湖国の感動 未来へつなぐ』をキャッチフレーズで、10月25日から27日の3日間、滋賀県で開催されます。

広島市選手団として、個人競技24名・団体競技9名が参加されます。

選手の方々は、持てる力を十分に出し切り、目標とする記録・順位を目指すとともに、しっかりと楽しんできてほしいと思います。

(以下敬称略)

〔団長〕 広島市障害者スポーツ協会

副会長 安森 博幸

〔陸上〕 青木 涼、久保 龍太、

仲重 大夢、三原 にと、

川西 宏征、高橋 遼、

第26回中・四国ブロック 身体障害者相談員研修会

10月2日(木)、鳥取県米子市の米子コンベンションセンター国際会議室において開催された第26回中・四国ブロック身体障害者相談員研修会に、向井会長、上土井理事、上野理事ほか10名で参加しました。

〔水泳〕 竹林 晃希、藤野 美鈴 川口 美紀、三木 英紀 旗岡 千那	〔卓球〕 松岡 希世子、沖野 竜輝 吉岡 大貴、石橋 慶一 中本 千穂	〔フライングディスク〕 吉田 孝三、和久野 寛之 高阪 悠輝、友井 萌衣里	〔ボッチャ〕 曾根 晃子、小野 輝巳	〔ボウリング〕 甲斐 匠馬、上林 重人	〔バレーボール(精神障害の部)〕 小川 慶人、小川 倫世 中野 幸造、松浦 宏樹 松浦 幸子、山本 勇基 前田 拓哉、井筒 康生 小川 芽恵
--	---	--	------------------------------	-------------------------------	--

この研修会は、中・四国各県から身体障害者相談員が集い研修を受け、相談員としての資質を向上させるとともに、団体相互の連携を密にし、各地の相談業務の充実を図ることを目的として実施されるもので、今回は一二〇名を超える参加者が熱心に講演、取組事例発表を聴講しました。

開会式では、日身連の君島淳二常務理事から次のような挨拶がありました。「相談員の高齢化、なり手の減少に対応するため、日身連として時代のニーズに合った相談員への支援策を検討していく。」

続いて、中・四国身体障害者相談員連絡協議会の岡村隆次会長の挨拶では、「身体障害者相談員制度は昭和42年創設後58年の歴史があるが、相談役の常駐化や、地域活動の推進役、行政とのパイプ役を担っていくことが期待されている。」とのお話がありました。

講演会では、一般社団法人アートスペースからふるの妹尾恵依子理事長から「アートを仕事に」と題した講演がありました。「からふる」は妹尾氏が養護学校勤務の後、障害者も創作活動ができる場として、平成



中・四国ブロック身体障害者相談員研修会の様子

17年に個人教室を開設し平成26年に就労継続支援B型事業所として開業。現在、総勢40名弱の利用者が在籍しており、障害者が描いた絵画や立体作品を個人や企業に貸し出したリ、オリジナルグッズを製作・販売したりしています。

アートの効用を感じてきた妹尾さんは「誰もが一人の市民として普通に生きるため、人との関わりに自信がない人や、外出機会の少ない障害者や高齢者が一歩を踏み出すきっかけの一つになれば」と地域とのつながり創出に取り組まれているとお話をされました。

取組事例発表では、鳥取市身体障

害者相談員の奥田春寿氏からオストメイト日常生活復活事業を通じた相談員活動について発表がありました。相談件数の拡大のため、①オストメイト協会を通じた相談件数の拡大、②民生委員など他団体との連携、③身障協会との連携、④相談しやすい環境の創設を柱に据え、自治体別相談会の実施、オストメイトカフェの開設、病院内での相談会の開催、公民館や役所でのPR活動などに取り組んでいるとお話がありました。

二つ目の取組事例発表は、鳥取県西伯郡伯耆町身体障害者相談員の花倉 積氏の「相談員の再配置に向け



相談員研修会の講演を聴講する市身連参加者



水木しげる記念館でねずみ男と一緒にの参加者

た取組」についてという発表で、養護学校の校長をされていたご自身が障害者となり、相談できる場所を探したが見つからず、身障協会に入。相談員の未配置や身障協会の会員減少などを目の当たりにされたそうです。

そこで、行政と連携し障害者手帳交付時に身障協会の案内文書を配付してもらったり、ボッチャ大会などのイベントを実施し身障協会や相談員の仕組みなどの周知を図るための広報活動、相談員の連携強化事業を展開され、形だけの相談員から持続可能な相談員への転換に取り組んでおられました。

講演、取組事例発表をされた3人の方はいずれも熱意と行動力豊かな方で、大変勉強・参考になりました。

翌日、隣接する境港市の水木しげる記念館を視察しました。昨年4月にリニューアルオープンしており、施設も展示も新しく、多目的トイレも完備、車イスの移動もスムーズで、館内スタッフの対応も親切・丁寧でした。

市身連第4回理事会

10月5日(日)、広島市総合福祉センターで、令和7年度市身連第4回理事会を開催しました。

理事9名、監事2名の出席のもと、令和7年度上半期事業実施報告及び職務執行状況報告の2件の議題が提案され、すべて全会一致で了承されました。

審議終了後、事務局から今後の市身連の事業計画の説明及び協力要請がなされました。

その中で、来年度の中・四国身体障害者福祉大会は、来年11月6日(日)、広島県が主管で三次市の「三次市民ホールきりり」で開催されることが報告されました。

各身障協だより

◆広島市肢体障害者福祉協会

8月24日(日)に、東区地域福祉センターで、肢体協福祉大会を開催しました。

講師は認知症予防ゲームリーダーの小谷朱美先生で、「認知症予防ゲーム・スリーA」という演題の講演・体験会を実施していただきました。参加者は20名でした。

スリーAとは、「あかるく」、「あたまをつかって」、「あきらめない」の頭文字の3つ「あ」「あ」「a」から、スリーAと名付けられています。

まず、歌を歌いながら、左右の手で違う動きを行うことで奇妙な動きになり、場の空気が一転して明るくなり、続いてお手玉を使ったゲームやリボンを使ったじゃんけんゲームをやり、大いに盛り上がりました。例えば、両手を前に伸ばして右手の親指だけ曲げて人差し指から数を数えながら指を折っていきます。左手は親指からスタート、1本ずつズレながら数えながら曲げていきます。簡単にできると思っていたことが意外と難しく頭も使うので、みんな笑顔で笑い声が絶えませんでした。実際にゲームを体験し、認知症予防の役に立つと実感しました。

これから予定ですが、11月1日(土)は、呉市大崎下島「御手洗町並み保存地区」及び「道の駅西条のん太の酒蔵」などを見学する生活行動訓練を行います。

参加ご希望の方は、早めに市肢体協又は市身連までお申込みください。

◆東区身体障害者福祉協会

東区身協では第40回定期総会を6月13日(金)に広島市心身障害者福祉センターで開催しました。

総会では、『交通系ICカードの今後』に関する問題について、「パスピー終了後のICカードでの支払いや割引はどうなる?」をテーマに、バスセンターなどで集めた資料をもとに、何が変わったのかなど、みんなで考えた疑問やその対応策を話し合いました。

モビリーデイズとイコカは、地域や利用交通機関によってメリットが異なり、知らない損をすることが多いことに驚かされました。情報を共有する機会を得て大変有意義な話

し合いとなりました。

続いて、決算報告等を審議し総会を終えました。大会後は、弁当を買って昼食会を企画しましたが、感染症等の対策のため談笑をするにとどめて散会しました。

今年も参加者が減少し、高齢化と徐々に重たくなる障害の度合いにより、活発な活動が困難となってきましたが、今年度は魅力あるイベントとして、独自のボッチャ大会などを企画しています。

お知らせ

◆市身連「文化研修会」

障害者の文化教養の向上を図り、自立と社会参加促進を目的として開催する「文化研修会」を今年も実施します。

障害者の方はどなたでもご参加いただけます。

・日時 令和7年11月30日(日)

午後2時～午後3時30分

(受付：午後1時30分～)

・場所 広島市総合福祉センター

5階大会議室1・2

・講師 三木 幹子氏(広島女学院大学人間生活学部教授)

・演題 現代イケメン学 ―男性ファッションと理想の男性像の変遷―(戦後の理想の男性像の変遷を通して、日本の女性の恋愛観、結婚観、ライフスタイルの変化を考察)

・定員 90名(参加料 無料)

※手話通訳・要約筆記あります。

・申込期限 11月14日(金)

・申込方法

氏名・電話番号、FAX番号、障害名等を記入し、FAX、電子メール又は郵送により市身連事務局へ提出してください。

◆心身障害者福祉センター

『文化祭』

12月3日～9日は、障害者週間で

す。障害への理解と障害のある方に対する社会や文化活動への参加意欲を高めていただくことを目的に、障害者週間の日曜日に心身障害者福祉センター『文化祭』を開催します。センターで活動されている方の作品展示やステージ発表、手話体験や点字体験、バザー等々盛りだくさんのイベントです。

「ひとりひとり みんなが主役」

をテーマに、センターを利用する皆さんが日頃の活動成果を発表する作品展示、ステージ発表を始め、体験コーナー(点字、手話)等があります。その他、バザーや模擬店・ゲームコーナーもあります。今年は広島県歯科衛生士会の歯科相談や、市の医師会の測定会などもあります。

今年度のステージでの特別出演は、「広島市消防音楽隊の演奏」と「カープ選手との集い(予定)」を企画しています。皆さんのお越しを心からお待ちしています。

※感染症等の状況によっては催しの内容を変更する場合があります。

・日時 12月7日(日)

午前10時～午後4時

・場所 広島市心身障害者福祉センター

ター

・参加費 無料

・問合先

広島市心身障害者福祉センター2025文化祭実行委員会(東区光町2-1-5)

TEL(082)261-2333

FAX(082)261-7789

※無料送迎バス…会場と広島駅北口を往復運行予定

◆第21回マーガレットコンサート(障害者と広響とのジョイントコンサート)

このコンサートは、障害者のより積極的な社会参加の促進を図ることを目的に開催されるもので、多くの皆様にご来場いただき、出演する障害者に温かいご声援をいただければと考えており、多くの皆様のご来場を心から期待しています。

・開催日時

令和8年1月25日(日)

14時開場、15時開演

(17時 終演予定)

・場所 広島国際会議場フェニックスホール(中区中島町1-5 平和記念公園内)

※手話・要約筆記つき

・入場料

【前売指定】S席 2,500円

A席大人2,000円

小人1,000円

【当日指定】S席 3,000円

A席大人2,500円

小人1,000円

・主催 広島市(主管・広島ふれあい委員会)

・プログラム

第1部 和太鼓とオーケストラ

(ゲスト…今福 優(和太鼓奏者))

(1) 広響

♪ラヴェル…クープランの墓

♪メヌエット

♪川崎 優…祈りの曲第一《哀悼歌》

(2) ゲストと和太鼓とオーケストラ

(3) ゲストと和太鼓

♪生命の詩

第2部 合唱とオーケストラ

(ゲスト…STU48)

(1) 合唱と広響

♪青い空は

♪折り鶴

(2) ゲストと広響

♪青空を語り合おう

♪365日の紙飛行機

(3) ゲストと合唱と広響

♪花は誰のもの?

(4) 全員合唱「ひろしま平和の歌」

・お問合せ先

広島市役所障害福祉課

TEL(082)504-2147

FAX(082)504-2256

・チケット取扱

エディオン広島本店プレイガイド

(東棟9階)、ふれあいプラザ(紙

屋町地下街シャレオ)、広島市視

覚障害者福祉協会(心障センター

4階)、広島市身体障害者福祉団

体連合会、広島市役所障害福祉課、

各区役所福祉課、イープラス

※車いす専用席は、障害福祉課まで

お問い合わせください。

※各区役所福祉課・ふれあいプラザで

はA席のみ販売します。

その他のお知らせ

◆「みんなのお店ひろしま」

障害を理由とする差別をなくし、

誰もが安心してサービスを利用でき

るよう①入店・サービス拒否をしな

い、②合理的配慮を提供する、③心

のバリアフリーを大切にするという

「3つの心構え」を掲げ、それを実

践するための取組を行っていること

を宣言する事業者を「みんなのお店

ひろしま」宣言店として公表。取組

内容を広く知ってもらうとともに、

その取組を応援することで、障害の

ある人となない人が相互理解を深め、

障害者差別の解消に向けた取組をさ

らに広げていこうとするものです。

事業者さん自ら又は推薦したいお

障害のある人もない人も、誰もが利用しやすく心あたたまる

みんなのお店
ひろしま宣言



あなたのお店も
宣言店になりませんか

広島市では、障害のある人もない人も、誰もが安心してサービスを利用できるようにするために大切な3つの心構えを掲げ、そのための取組を行っていることを宣言するお店を「みんなのお店ひろしま」宣言店として公表し、その取組内容等を、市のホームページで紹介しています！

広島市内の全ての飲食店・小売店・サービス事業所が対象です。



筆談ボードやコミュニケーションボード
を用意しています！



スロープや手すりを
設置しています！



点字メニューや
チャリンの音訳を
行っています！



手話の勉強会や
対応マニュアルを
策定しています！

宣言店になったら、市ホームページで店の情報や取組内容を紹介し、シンボルマークのついた宣言書やステッカーを交付します！

宣言店に加入するメリットは？

- SDGsに取り組み、社会的責任を果たしている事業者として、企業イメージの向上が期待できます。
- 広島市ホームページに企業名や取組内容等を掲載します。
- 印刷物やホームページにシンボルマークを使用して、お店の広報に活用できます。

※使用料無料、要申請

詳しい内容や、宣言店となる手続きについては、
広島市のホームページをご覧ください。

「みんなのお店ひろしま」宣言 検索



赤い羽根共同募金

この会報は、赤い羽根
共同募金の助成を受け
て発行しています。

発行者 公益社団法人 広島市身体障害者

福祉団体連合会

会長 向井 助三

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号

BIG FRONT ひろしま5階

電話 (082) 263-4524

FAX (082) 263-9713

ホームページ <http://shishinren.com/>

編集者 情報宣伝部会

部長 上野 玲子



市HP
QRコード